

受益者の皆さまへ

コモンズ投信株式会社
代表取締役社長兼最高運用責任者 伊井 哲朗

【特別レポート】～ 株式市場の下落について ～

○10月11日の各ファンドの基準価額騰落率(前日比)

	基準価額	前日比	騰落率
コモンズ 30 ファンド	28,557 円	▲1,131 円	▲3.81%
ザ・2020 ビジョン	15,526 円	▲623 円	▲3.86%
コモンズ 30+しずぎんファンド	12,961 円	▲511 円	▲3.79%

<ご参考>

	10月11日終値	前日比	騰落率
TOPIX(東証一部株価指数)配当込	2526.80	▲92.02	▲3.51%
日経平均株価	22,590.86 円	▲915.18 円	▲3.89%
東証マザーズ指数	952.90	▲48.20	▲4.81%

1.本日の市場動向

10月11日の日本株式市場は、前日(10日)の米国長期金利の上昇に対する警戒感に端を発した米国株安の流れを受け、大幅に下落しました。TOPIX(東証株価指数)配当込は、前日比▲3.51%、日経平均株価は▲3.89%、東証マザーズ指数は▲4.81%となりました。

2.コモンズ投信代表取締役社長兼最高運用責任者 伊井 哲朗 からのメッセージ

平素よりコモンズ投信をご愛顧いただき誠にありがとうございます。

本日(10/11)の東京株式市場は、米国長期金利の上昇に対する警戒感に端を発した米国株安の流れを受け大幅続落となりました。今年の1月末から2月にかけても米国長期金利上昇が引き金となり、株式市場は10%強の調整を強いられました。

こうした状況等も考慮し、米国の長期金利が上がり始めた9月後半から、運用する各ファンドにおいて株式の組入比率を徐々に落とし始め警戒感を持って臨んでおりました。

9月末時点での株式組入比率は、コモンズ 30 マザーファンドで 95.3%、ザ・2020 ビジョンマザーファンドで 94.8%となっております。

そして、10月月初からは株価指数が高値を更新する局面で更に株式の組入比率を落とし、両ファンドともに10%近い現金比率としていました。

しかし、結果として本日のファンドの基準価額の下落を回避することが出来ず、皆様にはご心配をおかけしていることを心苦しく思っております。

今回の急落が時間軸でどれくらい継続するかは現段階では予想が難しいですが、しばらくは振れ幅が大きくなる可能性もありそうです。

そのため、引き続き株式組入比率も考慮しながら、慎重な運用を続けて参ります。

そして、両ファンドとも、個別企業ごとにその価値に比べて株価が大きく下落する銘柄は丹念に押し目買いを継続し

て参ります。

「長期的な利益は、短期的な痛みを乗り越える」

この体験は、長期投資家こそよく理解いただいているものと思います。

本日も通常の3倍を超える買い注文を頂いており、大変心強く、嬉しく思っております。

思えば、今年はリーマンショックから丁度10年という節目の年でもあります。コツコツと積み立てを中心に長期的な資産形成に取り組んできた皆さまは、この危機をしなやかに乗り越え、しっかりと資産形成を実現されています。

当社が先般発表した顧客損益比率（「投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI」公表のお知らせ）

（https://www.common30.jp/files/uploads/NewsRelease_20180928_kpi.pdf）をみても、2018年3月末現在で97.7%のお客さまが資産を殖やされていますが、この業界最高水準となった（※）数字の背景はまさに、リーマンショック後の景気悪化や東日本大震災、超円高を克服し、つみたてによる長期的な成果を物語っています。

引き続き、長期的な資産形成に取り組む皆さまと私たちとの二人三脚で、この局面も乗り越えていきたいと考えています。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

（※）2018年9月時点、日本経済新聞社調べ

以上

ファンドの費用について

購入時手数料	(コモンズ投信の場合)ありません。 (委託会社が指定した販売会社の場合)販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。なお、販売会社における購入申込手数料率は3.24%(消費税込)が上限となっております。
換金時手数料	ありません。
運用管理費(信託報酬) <コモンズ 30 ファンドの場合> <ザ・2020 ビジョン、 コモンズ 30+しずぎんファンド の場合>	ファンドの純資産総額に年 1.0584%(消費税込)を上限とした率を乗じて得た額とします。なお、基準価額は、信託報酬控除後のものです。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により低減する仕組みになっています。 ファンドの純資産総額に年 1.2420%(消費税込)を上限とした率を乗じて得た額とします。なお、基準価額は、信託報酬控除後のものです。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により低減する仕組みになっています。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用・手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として純資産総額の0.108%(消費税込)を上限として投資信託財産より控除されます。上記の手数料(費用)等の合計額については、保有期間に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

ファンドのリスクについて

ファンドは、国内外の株式など値動きのある証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、これを割り込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま(受益者)に帰属します。投資信託は預貯金と異なります。

※リスク要因は、上記に限定されるものではありません。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

ご留意事項

- ◆本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものです。
- ◆このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。
- ◆投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。

金融商品取引業者
関東財務局長(金商)第 2061 号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
コモンズ投信株式会社
〒102-0093
東京都千代田区平河町2-4-5
平河町Kビル5階